

第6回 運営推進会議 議事録

平成 31 年 3 月 26 日

| | | | |
|------|---|----------------|--|
| 事業所名 | デイサービスセンター「笑くぼ」 | | |
| 開催日時 | 平成 31 年 3 月 22 日 (金) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分 | | |
| 開催場所 | デイサービスセンター「笑くぼ」フロア隣接の部屋 | | |
| 参加者 | 利用者 2 名 | 知見を有する者 1 名 | |
| | 利用者家族 1 名 | 地域包括支援センター 1 名 | |
| | 地域住民の代表 1 名 | 事業所職員 2 名 | |
| 議題 | 1 運営状況 2 ヒヤリハット・事故報告 3 前回の課題 4 運営委員からの質問 5 運営委員からの評価 6 今後の課題 | | |

会 議 録

1 運営状況

○ 利用状況

利用定員17名のところ、一日平均利用人数13.4名。利用者人数31名(男性6名、女性25名)。要介護2、3の利用者が多い。車いすの利用者2名受け入れ。送迎はスロープ付き専用車でやっている。

○ 月行事

10月:ハロウィン(自家農園の南瓜のおやつ) 11月:紅葉狩り(フルーツ公園へ外出)
 12月:クリスマス会(ボランティアの演奏、飾りつけ) 1月:初詣(稲積神社)
 2月:節分(にらめっこ大会) 3月:ひな祭り会、桃の花見(予定)
 月1回:回転寿司の外食レク(今年に入ってから、感染症予防のため控えている)。

○ 月行事以外の活動

- ・ 広報誌「グットケア便り」発行(利用者全員に配布、及び来週、山日折込チラシにて配布)。
- ・ デイの畑で大根の栽培。昼食や、沢庵にしておやつの時間に提供し、喜んでいただく。
- ・ 定年退職した地域の方を送迎運転手として採用。地域に根差した事業所の第一歩。
- ・ 地域密着南エリア連絡会にて防犯研修に参加。不審者が施設に侵入してきた時の対応など、南甲府警察署の職員から受講。不審者を刺激しないように「合言葉」を決めておく。また施錠の必要性を確認。
- ・ 「こども110番のいえ」として、伊勢小学校からの推薦で指定を受ける。地域の子供、父兄、住民に、どう知っていただけるかが課題。

2 ヒヤリハット・事故報告

① 《日時》H31.1.17 《内容》午睡後、利用者同士がお互いの手を引っ張り合い起床しようとしていた。
 《原因・対策》本人たちに危険である事を説明し納得していただく。

② 《日時》H31.1 《内容》利用者が8名インフルエンザに感染。
 《原因・対策》例年より流行時期が早く、予防や対策が遅れてしまった為と思われる。反省を生かし、早い段階での予防に努める。お迎え時体温測定、マスク・手洗いの徹底、加湿器追加、室内換気消毒等。
 事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行なうと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等を話し合いを行い、再発防止に努めている。

3 前回の課題

(1) ボランティアの新規開拓

レクのバリエーション増やすため、現状来ていただいているボランティア以外も調査・探索することは、まだ出来ていない。今後も継続して検討していく。

(2) 屋外歩行の機会

気分転換やより良い機能訓練のため、引き続き、屋外歩行の機会を作るれるようにする。また、今まで行ったことのない場所も検討する。

(3) 非常災害への備え

備蓄品を住吉5丁目グットケア本部に水・食料・ガスコンロ等準備。

(4) 地域に向けての活動

美化活動(花の育成・畑の栽培)は継続して進めている。以前から行っていた、すみよし愛児園との交流はタイミングが合わず実施できなかったため、4/7の住吉神社春季例祭への参加を皮切りに、デイサービス「やまぼうし」と連携を取りながら進めていく予定。

(裏面に続く)

4 運営委員からの質問

- ・ 従業員の確保は難しいか？

求人募集をしても介護員の反応はあまりない。今いる従業員を大事にするよう取組んでいる。外国人の職員は、韓国人が1名働いている。この職員は日本語が堪能なため問題ないが、今後外国人従業員が増えていくと、言語や国民性の違いに不安はある。弊社では介護職員初任者研修も実施しており、求人の裾野を広げている。

5 運営委員からの評価

(利用者)

- ・ 最初1回来て終わりだと思っていたが、来るたびに面白くなって、ずっと続いている。男性同士で世間話をしたり、子供の頃を思い出すような行事や、運動、お風呂にも入れる。楽しくて満足している。
- ・ 最近利用を始めたばかりなので外出はできていないが、皆の話を聞いて、外出することを楽しみにしている。職員はとても良くやってくれている。

(利用者家族)

- ・ 一時期、私が看れない時があり、悪くなってしまったが、笑くぼを週2回から4回に増やして大分良くなった。顔つきが以前より良くなって、デイへ行った日は良く寝れている。助かっている。
- ・ 連絡帳の文字が特徴的な職員の方がいて、読めない時がある。分かりやすく書いてほしい。

(地域住民の代表)

- ・ 「こども110番のいえ」が新たに指定されたことを知らせる手段は現状ない。一度学校と相談して、全ての場所をまとめたものをチラシや回覧板で知らせる等が考えられる。通学路なので場所は分かると思う。防犯のための戸締りと、子供達が立ち寄りしやすいように開放することは、相反する事になってしまう。どこまで施錠し、どこまで開放するか、その辺りも含め、地域にどう周知するか検討してみしてほしい。
- ・ いきいきサロン内で、消費者センターの出前講座を受けたが、詐欺の電話は参加者ほぼ全員掛かってきていた。そういった出前講座も検討してみしてほしい。

(地域包括支援センター)

- ・ 「こども110番のいえ」の周知や、笑くぼを知ってもらうため(多忙なのは重々承知だが)、登下校の時間に挨拶運動や、利用者と一緒に児童を見守る活動をしてほしい。(下校時間は1年生2時半～)
- ・ 自治会からお花のやりとりがあり、お互い顔も知れているので、笑くぼで栽培した野菜等のおすそ分けをしてみたい。地域とつながりを持てれば良いことだと思う。(いきいきサロン:毎月第3水曜日開催)

(知見を有する者)

- ・ 細かく様々な事をやっており、地域とふれ合うこと・知ってもらうこと等、地域に貢献しようと良くやっている。利用者が大変喜んでいるのが何より良いこと。

6 今後の課題

○ 今後の予定

月間行事、月1回の外出、おやつ作り、ボランティアによる歌の会 等。

引き続き、レクのバリエーション増やすため、現状来ていただいているボランティア以外も、調査・探索する。

○ 屋外歩行の機会

感染症や事故等に注意を払いながら、継続した課題として取り組む。

○ 地域に向けての活動

住吉神社春季例祭の大人神輿へ職員の参加。

「こども110番のいえ」の周知。挨拶・見守り活動等の検討。防犯の為の施錠と、開けた施設への検討。

○ その他

連絡帳を誰が見ても分かるよう、分かりやすく記入する。

次回、第7回運営推進会議は、平成31年9月の予定